

たのよう 11月号

平成30年11月1日発行 洗足池保育園

朝夕もめっきり冷え始め、散歩先の公園では葉も色づき、秋の深まりを感じる季節となりました。子ども達はどんぐりや落ち葉等を集めて遊んだり、製作に使ったりと四季の移り変わりを楽しんで過ごしています。

さて、イベントが多かった9、10月も終わり、園生活も少し落ち着く時期となります。そんな中でも、あおば組が一生懸命掘ってきたお芋で“焼き芋作り”や千束八幡神社へ行き“七五三参拝”等があります。それぞれの行事の意味を理解し、子ども達が様々な事に興味を持てるよう一緒に考え、伝えていきたいと思えます。

気温も低くなり、乾燥する時期です。手洗い・うがいを徹底し、栄養と睡眠をしっかりととり、体調を崩さないように注意しましょう！

焼き芋作り 11月2日

先日、あおば組さんが遠足で掘ってきた芋を使用して、皆で焼き芋作りを行います。

- ①洗う
- ②4.5歳児さんが包丁で切る
- ③濡らした新聞紙とアルミホイルで包む

…という作業を皆で行い、午睡中にバーベキューセットでの炭火焼の焼き芋が完成！午後のおやつでおいしく頂きます。



11月の行事予定



- 1日(水) 園・保健だより発行
- 2日(金) 焼き芋作り
- 3日(土) 大洋社創立記念日 文化の日
- 10日(土) 育児講座 10:00~11:30
- 15日(木) 七五三参拝 災害訓練
- 16日(金) 身体測定(全園児)
わかば組歯磨き指導
- 23日(金) 勤労感謝の日
- 28日(水) 誕生会
- 29日(木) 歯科検診 10:00~

育児相談月間

洗足池保育園では、毎年11月を育児相談強化月間としております。保護者の方々や地域の方々へ向け、育児講座の開催、電話やメールでの相談受付、アンケート等を行い、広く育児に対する支援に努めてまいります。保護者の皆様も、この機会をどうぞ積極的にご利用ください。

歯科検診 11月29日



嘱託歯科医の清田先生による歯科検診は、10時00分より行います。全園児が受診できるよう、ご協力お願い致します。

また、清田先生に相談したい事等ございましたら、事前に担任へお伝え下さい。



11月10日 育児講座

お父さん会をしました！！10月20日

脳科学に基づいた運動の重要性

～ 柳沢運動プログラムから学ぶ ～

洗足池保育園 育児講座

11月10日(土)



洗足池保育園 1階
9:45 開場 / 10:00 開演
(11:30 終了予定)

鈴木 貴之 氏

運動保育士会子どもプラス 所属

【柳沢運動プログラムとは?】

柳澤 秋孝先生(熊本県立大学 教授)と柳澤 弘樹先生(体力医学研究所 体育科学博士)が「脳を育て心を育てる」を基に、考案した運動プログラムです。

外で遊ぶことが困難になった現代の環境でも、効率的に十分な運動量を確保し、子どもの健全な心を育む手法を研究され、運動遊びを通して、乳幼児の好奇心・やる気・達成感・自身・集中力を育むことを目的としたプログラム構築されています。全国の自治体をはじめ、保育園・幼稚園・小学校など、子どもが集まる場所に、安全で楽しい運動遊びの方法を伝えられています。

●ご参加頂いた方に「柳沢運動プログラム」資料をお渡しします。

●“運動ってどうして必要なの?” “運動神経のいい子に育ってほしい!” “小さい子でもできる運動遊びって何?” など、運動遊びの疑問に思う事を楽しく学びましょう!

子どもの心脳体がつつ!!



逆上がりや側転ができるようになり運動神経が良くなる



読解力を高め学力を向上させる



すでにお知らせしておりますとおり11月10日(土)は育児講座があります。今年は、“運動保育士会子どもプラス所属 鈴木 貴之 様”にご講演頂きます。

外で遊ぶことが困難になった現代の環境でも、効率的に十分な運動量を確保し、子どもの健全な心を育む手法を研究され、運動遊びを通して、乳幼児の好奇心・やる気・達成感・自身・集中力を育むことを目的とした運動遊びをお話し頂きます。そもそも運動はどうして必要なのか?脳科学との繋がりは?等、運動遊びの疑問に思う事を楽しく学びましょう!

子ども達が毎日通っている保育園を、より身近に感じてもらいたい。また、数年前に「卒園間際までお父さん同士の交流の場が無かった」「お母さん同士は懇談会で交流できているから、お父さんの交流の場も欲しい」等の、保護者からのご意見もあり『お父さん会』を実施しています!!

今回は、子どもと一緒に保育園のおやつで食べるようなおまんじゅう作りをしました!

普段、交流することの少ないお父さん達が、子どもとの関わり方や仕事と育児の両立について等、お父さんならではの意見交換をされていました。

「良い時間でした!」「すごく楽しかったです!」等、たくさんの喜びの声が聞かれました。今後も、子ども達だけでなく、保護者にとっても第二の家庭であるよう努めていきたいと思っております。